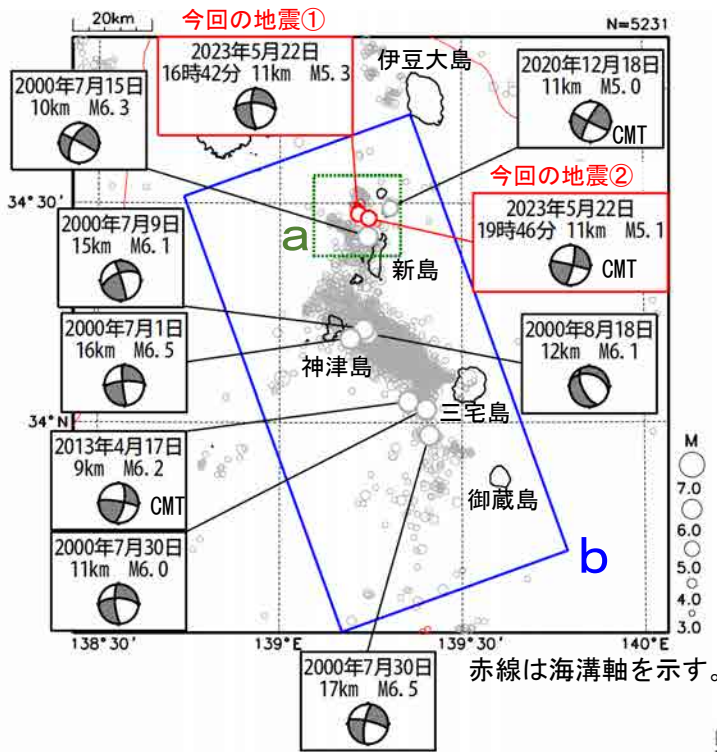


新島・神津島近海の地震活動

震央分布図
(1997年10月1日～2023年5月31日、
深さ0～30km、 $M \geq 3.0$)
2023年5月の地震を赤色で表示

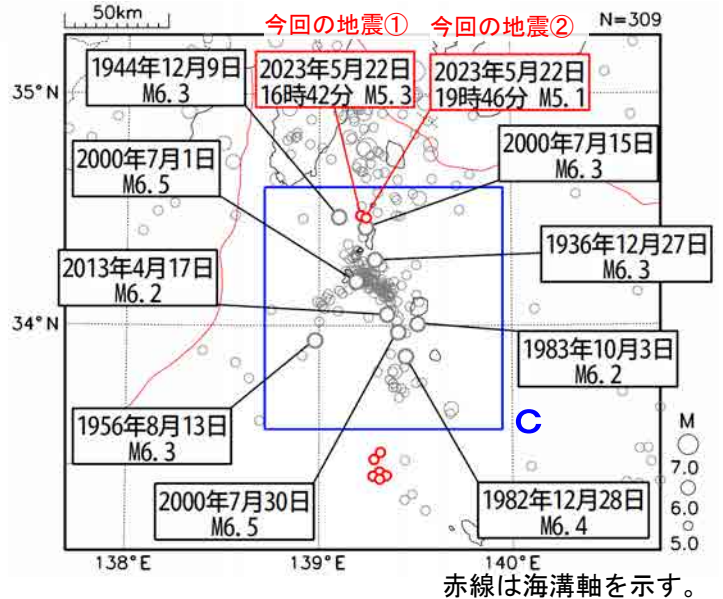


新島・神津島近海の領域 a では、2023年5月22日から地震活動が活発となっており、31日までに震度1以上を観測した地震が61回（震度5弱：1回、震度4：1回、震度3：4回、震度2：13回、震度1：42回）発生している。5月22日16時42分には深さ11kmでM5.3の地震（最大震度5弱、今回の地震①）が、同日19時46分には深さ11kmでM5.1の地震（最大震度4、今回の地震②）が発生した。これらの地震はフィリピン海プレートの地殻内で発生した。今回の地震①の発震機構は北西-南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。今回の地震②の発震機構（CMT解）は北北西-南南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。

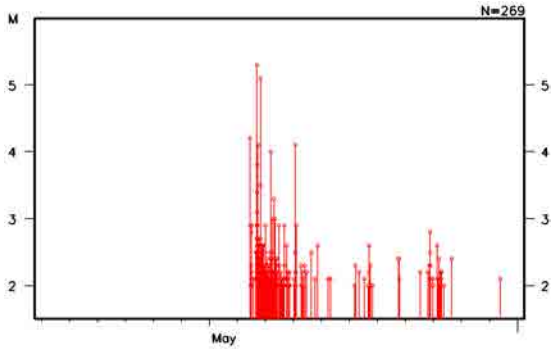
1997年10月以降の活動をみると、新島・神津島から三宅島にかけての領域 b で、三宅島の火山活動が活発であった2000年の7月から8月にかけてM6.0以上の地震が6回発生した。このうち7月1日に発生したM6.5の地震により、死者1名などの被害が生じた（総務省消防庁による）。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域 c）ではM6.0以上の地震が時々発生している。

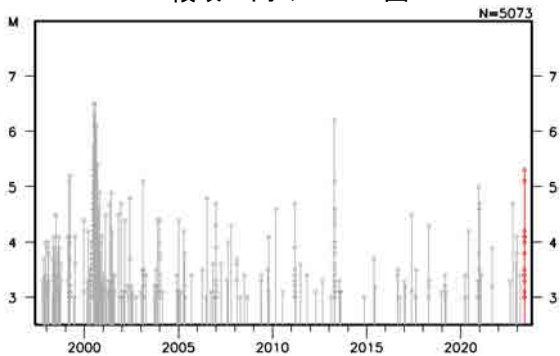
震央分布図
(1919年1月1日～2023年5月31日、
深さ0～30km、 $M \geq 5.0$)



領域 a 内の M-T 図
(2023年5月15日～31日、 $M \geq 2.0$)



領域 b 内の M-T 図



領域 c 内の M-T 図

